



取扱説明書

Caterpillar標準ラジオ

K56 1-UP (機械)	LYF 1-UP (機械)
K57 1-UP (機械)	LYG 1-UP (機械)
K58 1-UP (機械)	HWK 1-UP (機械)
LYR 1-UP (機械)	HWN 1-UP (機械)
L66 1-UP (機械)	LYJ 1-UP (機械)
L77 1-UP (機械)	HWP 1-UP (機械)
L88 1-UP (機械)	LYK 1-UP (機械)
H66 1-UP (機械)	HWR 1-UP (機械)
H77 1-UP (機械)	LYL 1-UP (機械)
H88 1-UP (機械)	HWS 1-UP (機械)
LBF 1-UP (機械)	L22 1-UP (機械)
LYA 1-UP (機械)	H24 1-UP (機械)
HWA 1-UP (機械)	H22 1-UP (機械)
HWB 1-UP (機械)	H26 1-UP (機械)
LBS 1-UP (機械)	L24 1-UP (機械)
LYB 1-UP (機械)	KJH 1-UP (機械)
HWC 1-UP (機械)	DC9 1-UP (機械)
LYC 1-UP (機械)	JW2 1-UP (機械)
HWD 1-UP (機械)	JC3 1-UP (機械)
LYD 1-UP (機械)	SL4 1-UP (機械)
HWE 1-UP (機械)	
LYE 1-UP (機械)	
HWG 1-UP (機械)	

言語: 説明書原本



スキャンして、最新の整備情報にアクセスし、追加のメディアを
購入し、Cat®純正部品を購入します。



安全について

車両の運転、整備、修理時に発生する事故の大部分は、安全確保のための基本的なルールや注意事項を守らなかったことが原因となっています。事故の多くは、あらかじめ考えうる危険状況を認識することによって未然に防ぐことができません。作業者は、安全に影響を及ぼす恐れのある人的要因を含む、潜在的な危険に注意しなければなりません。整備作業者はこれらの作業を適切に行うために正しい工具と技術を使用し、専門の訓練を受けていなければなりません。

不適切な方法で車両の運転、給脂、整備または修理を行うことは危険で、重傷事故または死亡事故を招く恐れがあります。

本製品の運転、潤滑、メンテナンス、修理については、その作業の実施が許可されており、運転、潤滑、メンテナンス、および修理に関する情報を読んで理解していることを確かめるまで行わないでください。

本書および車両上には安全上の注意事項が記載されています。これらに留意しないと、作業員自身または周囲の人たちが死亡または重傷を負う可能性があります。

これらの危険は「安全に注意を集中させるシンボル」およびそこに含まれる「標語」、「危険」、「警告」または「注意」で識別されています。例えば次に示す「警告」で目立つように説明されています。



この安全警告記号は次のことを意味します。

要注意、危険防止、安全第一。

このシンボルに続いて、予想される危険の内容が説明文または図によって示されます。

製品を損傷する恐れのある運転操作については、製品上および本書内で「注意」ラベルにより明示されている箇所に記載されています（このリストはすべてを網羅するものではありません）。

どこにどんな危険があるかを完全に予知することは、Caterpillar にとって困難な問題です。したがって本書および車両に貼付したラベルに記載されている警告の内容も、必ずしもすべての場合を説明している訳ではありません。作業場所特有の規則や諸注意等、その使用場所で本製品を運転する際に適用されるすべての安全上の規則や注意事項に関して考慮したと確信できない場合は、本書の記載と異なる方法で本製品を使用しないでください。Caterpillar が特に推奨していない工具、作業手順、作業方法、操作技術を使用する場合には、整備作業員は自分自身および周囲の人たちの安全を十分に確かめなければなりません。また、その作業の実施が許可されており、使用する予定の運転、潤滑、メンテナンス、修理の手順によって、本製品が損傷したり、安全性が損なわれたりしないことを確認する必要があります。

本書の説明、整備基準、および写真やイラストは、本書を作成した時点で利用し得た情報にもとづいています。整備基準、締付けトルク、圧力、寸法、調整方法、写真やイラスト等は常に変更されることがあります。これらの変更は、製品の整備作業に影響を与えることがあるので、実施しようとする整備作業について必要な情報を漏れなく集め、最新情報は、Cat デイリーから入手できます。

注意

この製品で交換部品が必要な場合、Caterpillar では純正の Caterpillar® 交換部品の使用を推奨しています。

他の部品は、純正機器の一定の仕様を満たしていない場合があります。

交換部品を取り付ける際、機械の所有者/使用者は、機械が依然として該当要件すべてに適合していることを確認する必要があります。

アメリカ合衆国では、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換または修理は、所有者の選択によって、修理施設または所有者個人で実施される場合があります。

目次

はじめに	4
安全上の基本的注意事項	
安全上の基本的注意事項	5
法規制遵守情報	
無線周波数成分	6
運転操作編	
作動.....	8
索引編	
索引.....	21

はじめに

サービス資料の内容

本書は、資料ホルダに保管する。

本書には、安全、運転操作および保守整備に関する情報が記載されている。

本書に使用した一部の写真またはイラストの詳細またはアタッチメントは、使用される製品と異なることがあります。

当社は常に製品の改良および向上を実施しているの
で、本書の発行時期の関連でそれらの変更が反映さ
れていないことがある。本書をよく読み、内容を理
解してください。本書は製品と共に保管してくださ
い。

使用される製品および本書に関する質問について
は、最寄りのCatディーラに最新情報をお問い合わせ
ください。

安全について

安全編には、安全に関する基本的な注意事項が説明
されている。同じく本項では、当該製品で使用され
ている警告標識やラベルの記載内容およびその位置
についても説明しています。

作動

本項は、運転操作の初心者および熟練オペレータの
再教育用として使用します。運転操作編には、ゲー
ジ、スイッチ、車両コントロール、アタッチメント
コントロールおよびプログラミング手順についての
説明がある。

写真およびイラストは、車両の点検、始動、運転お
よび停止の正しい手順を示しています。

本書に示した運転操作は基本的なものである。運転
操作の熟練度および技術は、オペレータが車両およ
びその性能について理解するのに従って向上する。

保守整備編

保守整備編は車両整備の手引書である。

安全上の基本的注意事項

i09224364

安全上の基本的注意事項

SMCSコード: 7606



警告

取扱説明書の説明と警告をよく読み理解するまでは、この装置の運転や整備などの作業をしてはなりません。説明に従わない場合や警告を無視した場合、重傷事故または死亡事故が生じる恐れがある。交換マニュアルについては、Caterpillar デイラにお問い合わせください。適正な維持管理を行うことは自己責任である。

前書き

この製品をお買い上げいただきありがとうございます。このマニュアルを注意深く読んでから操作してください。またこのマニュアルは、今後の参照用に保持しておいてください。

本書は対象機器の取扱説明書を補足するものです。常に対象機器の取扱説明書と一緒に本書を保管してください。

導入

この文書は、Caterpillar AM/FMラジオシステムの操作に関する情報を提供します。

対象機器の取扱説明書の指示および警告を読み、それらの指示および警告を理解していなければ、機器の操作およびメンテナンスを行ってはいけません。この文書の内容を理解してから、Caterpillar AM/FM ラジオシステムを搭載する機器を操作する必要があります。

注意事項

- マイナス接地の12 V DC電気システムでのみ使用してください。
- このユニットを搭載および接続している間は、車両のバッテリーマイナスターミナルを切り離してください。
- ヒューズを交換する際は、必ず同じアンペア定格のものを使用してください。
- アンペア定格が高いヒューズを使用すると、このユニットに深刻な損傷が発生する恐れがあります。
- ピンまたは障害物がこのユニットの内部に入らないようにしてください。ピンや障害物は、誤作動、もしくは感電などの安全上の問題を引き起こす恐れがあります。

- 高温または低温の環境で車両を長時間駐車していた場合、車両の温度が常温になるまで待機してから、このユニットを操作してください。

運転準備

ボリュームを高く上げすぎないでください。ボリュームは、外の警告音（ホーン、サイレン等）が聞こえるくらいのレベルに維持してください。

複雑な作業を実施する前には、車両を停止させてください。

注意

カバーを開けたり修理したりしないでください。お近くの認定ディーラに支援を依頼してください。

注記: 技術的な向上のため、仕様および設計を予告なく変更する場合があります。

この製品の使用中に直接インターネットにアクセスできない場所にある機器または携帯機器については、紙のOMMを印刷して製品と一緒に備えておく必要があります。

取扱説明書（OMM，Operation and Maintenance Manuals）は現在次のURLからオンラインで入手できます：

<https://www.cat.com/radio-compliance>

または次のURLからオンラインで入手できます：

<https://catpublications.com/>

法規制遵守情報

無線周波数成分

i09223126

娯楽用ラジオ (標準ラジオ - 装着の場合)

SMCSコード: 7338

表 1

機種	CAT 部品番号
標準ラジオ	525-1508 ラジオグループ
標準ラジオ (DAB+)	524-3711 ラジオグループ
標準ラジオ (非Bluetooth)	620-0149 ラジオグループ
標準ラジオ (DAB+/非Bluetooth)	620-0150 ラジオグループ

sDoC

簡易適合宣言書

欧州連合向け



Caterpillar Inc.は、本記載により、この無線機器が指令“2014/53/EU”を遵守していることを言明します。欧州適合宣言書の全テキストは、次のWebアドレスで参照可能です:

<https://www.cat.com/radio-compliance>

英国



Caterpillar Inc.は、本記載により、この無線機器が関連する法定要件を遵守していることを言明します。英国適合宣言書の全テキストは、次のWebアドレスで参照可能です:

<https://www.cat.com/radio-compliance>

Caterpillarでは、ご購入の直後に適合宣言書を手入れされることをお勧めします。

仕様

以下に記されている通信装置の仕様は、関連する危険評価の実施に役立てるとともに、現地のあらゆる法規を確実に遵守するために使用してください。

表 2

ラジオ仕様	
項目	整備基準値
ゼネラル:	
電源	12 VDC
最大送信出力	41 W x 4チャネル
スピーカインピーダンス	4Ω
寸法 (W x D x H)	188 mm x 114.7 mm x 58.5 mm
質量	0.9 kg (1.99 lb)
FMステレオラジオ:	
感度	14 dBμ未満
周波数応答:	50 Hz ~ 10 kHz
ステレオ分離	22 dB (1 kHz)
画像応答比率	40 dB
IF応答比率	60 dB
信号/雑音比	50 dB
AM / MWラジオ:	
感度	35 dBμ未満
USB:	
出力	5V , 0.5A

表 3

無線送信機仕様				
無線モデル	周波数範囲	範囲	最大送信出力	
標準ラジオ (Bluetooth) (ISMバンド)	2.400 GHz~ 2.483 GHz	10 m	+4 dBm	
AM/FM チューナ	バンド	受信周波数	自動ス ペース	チャン ネルス ペース
米国	FM	87.5 ~ 107.9 MHz	200 kHz	100 kHz
	AM	530 ~ 1,710 kHz	10 kHz	10 kHz
欧州	FM	87.5 ~ 108.00 MHz	100 kHz	50 kHz
	MW	522 ~ 1,620 kHz	9 kHz	9 kHz
	LW	144 ~ 288 kHz	3 kHz	3 kHz
アジア	FM	87.5 ~ 108.00 MHz	50 kHz	50 kHz
	AM	522 ~ 1,629 kHz	9 kHz	9 kHz
日本	FM	76.0 ~ 95.0 MHz	100 kHz	100 kHz
	AM	522 ~ 1,629 kHz	9 kHz	9 kHz

(続き)

(表3, 続き)

ラテン	FM	76.0 ~ 107.9 MHz	50 kHz	50 kHz
	AM	530 ~ 1,710 kHz	10 kHz	10 kHz
北アフリカ	FM	87.5 ~ 108.00 MHz	100 kHz	50 kHz
	MW	531 ~ 1,602 kHz	9 kHz	9 kHz
	LW	153 ~ 252 kHz	3 kHz	3 kHz

表 4

デジタル (DAB) ラジオ			
周波数範囲	DABバンドIII: 174.928 MHz ~ 239.200 MHz		
	DABバンドL: 1452.960 MHz ~ 1,490.624 MHz		
実用感度 (RF= 72 dBm)	-95 dBm		
周波数応答:	20 Hz ~ 20 kHz		
ステレオ分離	50 dB以上		
信号/雑音比:	60 dB以上		
	項目	最低	最高
	遠傍選択度:	42 dB	60 dB
	近接チャンネル拒否:	35 dB	40 dB

認証の通知

FCCおよびICに関する注意事項

このラジオは、FCC規則のパート15およびIndustry Canadaのライセンスに適合しています (RSS規格は除く)。動作は、以下の2つの条件に従います。

- この機器が干渉を引き起こさない。さらに
- この機器が、望ましくない動作の原因となるおそれがある干渉を含め、あらゆる干渉をすべて受け入れる必要がある。

放射線被ばく

この装置は、非管理環境について規定されたFCC/IC放射線被ばく限度に適合し、FCCの電波 (RF, radio frequency) 被ばくガイドラインに適合しています。電波被ばくガイドラインは、OET 65についての補遺Cに記載されています。この装置は、IC電波 (RF) のRSS-102にも適合しています。被ばく規則。アンテナの近傍にトランスミッタを配置したり、他のアンテナやトランスミッタを作動させたりしないでください。

FCCクラスBデジタル装置に関する注意事項

この機器には試験を実施し、FCC規則のパート15に適合するクラスBのデジタル装置の規制に適合していることが証明されています。この規制は、個人の家に取付けられた場合に有害な干渉を引き起こす可能性を無視するよう定められています。この機器は、無線周波エネルギーを発生し、使用および放射します。そのため、指示に従って取り付け使用されなければならない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。それでも特定の設定で電磁干渉が発生しないという保証はありません。この機器が無線お機器の電源を切ったり入れたりすることを確認できます。次の1項目以上の方策により、ユーザが干渉の是正を試みることを奨励します。

- ディーラまたは無線/テレビの専門技術者に相談します。

変更に関するステートメント

Caterpillarは、ユーザによるこの装置に対するいかなる変更または改造も認めません。変更または改造があった場合は、ユーザの機器を操作する権利は無効となります。

運転操作編

作動

i09224365

ラジオ

(娯楽用 - 装着の場合)

SMCSコード: 7338

⚠ 注意

運転中は、常に視線を道路から外さず、手はステアリングホイール上に保持し、通常の運転に必要な操縦に集中するようにしてください。運転者には、車両の安全な運転を継続する責任が課されています。運転中に道路への視線の維持およびステアリングホイール上で手の保持を怠ると、自分自身や第三者に危害が及ぶ可能性があります。

導入

このオーナーズマニュアルに記載の情報は、発行の時点で正確なものです。ただしCaterpillarは、仕様および性能を予告なく変更する権利を留保します。印刷の時点以降に行われた変更に関する詳細については、お近くのディーラにお問い合わせください。

ラジオシステムを操作するには、ボタン、RSA (Rear Seat Audio, リアシートオーディオ)、またはステアリングホイールコントロールを使用します。

ステレオレシーバ (Bluetoothラジオ)

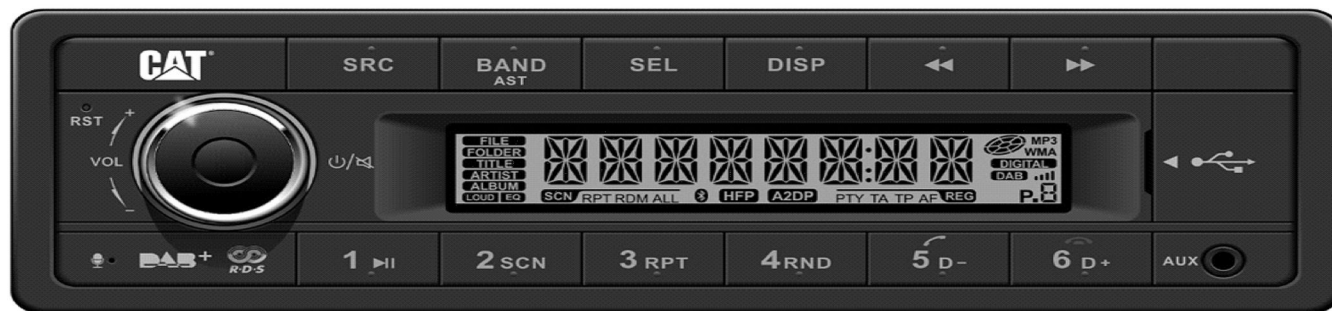


図 1

ラジオ/USB MP3/USB/DAB+/DAB/Bluetoothレシーバ

g06244205

ステレオレシーバ（非Bluetoothラジオ）



図 2

ラジオ/USB MP3/USB/DAB+/DAB/非Bluetoothレシーバ

g06783394

電気接続

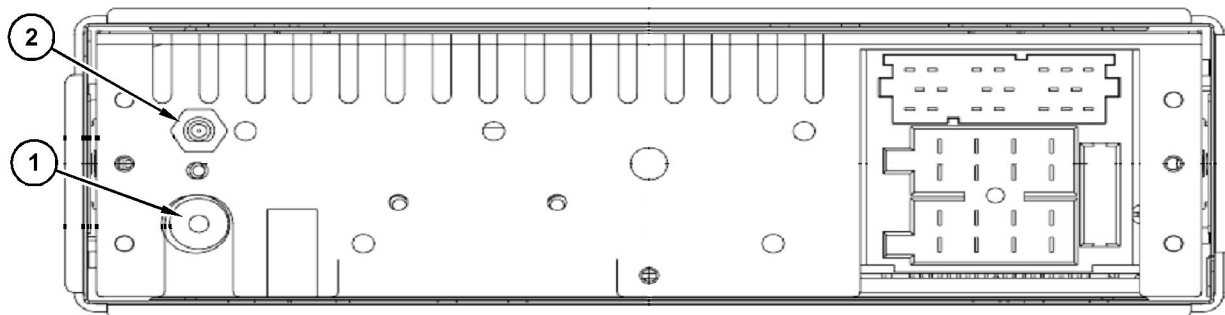


図 3

g06247910

- (1) DAB SMBコネクタ
 (2) AM/FM ISOコネクタ

ラジオのピン配列

ラジオのピン配列は次に示すとおりです。



Pin No	Note	Pin No	Note
3	Telephone mute low	9	Rear R+
4	Ignition	10	Rear R-
5	Antenna Remote	11	Front R+
6	Illumination	12	Front R-
7	Battery+	13	Front L+
8	Power Ground	14	Front L-
21	SWRC+	15	Rear L+
22	SWRC GND	16	Rear L-
23	Left AUX Input	25	AUX GND
24	AUX Shield GND	26	Right AUX Input
31	Mic+	32	Mic-

図 4

g06794044

ラジオのピン配列

- (1) Mic+ (Bluetooth装備のラジオのみ該当) (2) Mic- (Bluetooth装備のラジオのみ該当)

一般的なラジオレシーバの機能

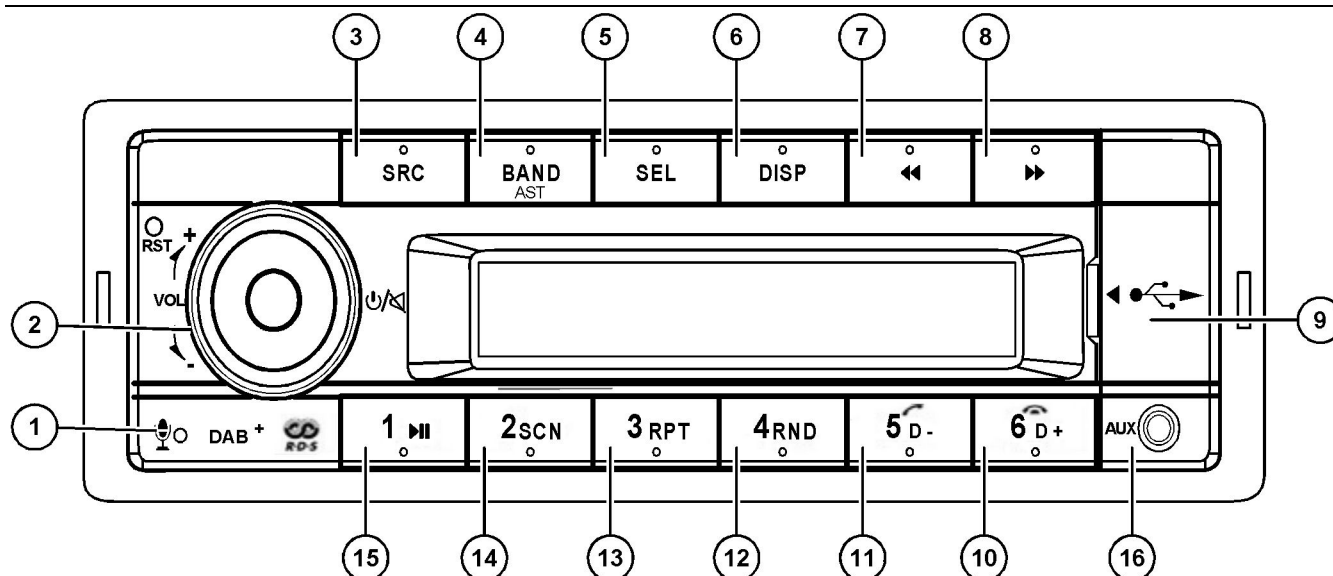


図 5

g06787581

- | | | |
|-----------------------------------|---|---|
| (1) マイクホン (Bluetooth装備のラジオのみ該当) | (7) PREV (前へ) | (12) MP3ランダム再生 |
| (2) 電源ON/OFF/ミュート | (8) 次へボタン | (13) MP3リピート再生 |
| (3) ソース (SRC) ボタン | (9) USBスロット | (14) イントロ再生プログラム (SCAN) |
| (4) バンド/ASTボタン | (10) MP3フォルダ進める/電話を切る (Bluetooth装備のラジオのみ該当) | (15) MP3/Bluetooth再生/一時停止 (Bluetooth装備のラジオのみ該当) |
| (5) 選択 (SEL) ボタン | (11) MP3フォルダ戻る/電話に出る (Bluetooth装備のラジオのみ該当) | (16) フロント補助入力 |
| (6) DISP (ディスプレイ) 再生/一時停止 | | |

オプション

- AM 1バンド，AMプリセット数6局
- FM 3バンド，合計FMプリセット数18局
- 気象 (WX) 1バンドプリセット，WXプリセット数6局

一般的な操作

電源ON/OFF/ミュート

ラジオをオンにするには，電源ON/OFFボタンを押します。ラジオをオフにするには，電源ON/OFFボタンを2秒間以上押します。電源ON/OFFボタンを2秒間未満押すと，ラジオがミュートされます。

イグニッションロジック

イグニッションロジックが有効 (デフォルト設定) になっている場合，車両のイグニッションピンが接続されていない場合でもラジオをオンまたはオフに切り替えることができます。バッテリーの放電を避けるため，ラジオはユーザが操作しなくても1時間後にオフになります。

システムの設定

システム設定メニューは，[DISP]ボタンを長押しすることで呼び出されます。利用可能なメニュー項目にアクセスするには，検索ボタン[<</>>]を押します。各メニュー項目の利用可能オプションを選択するには，[VOL]ノブを回します。

ソース (SRC) ボタン

[SRC]ボタンを押して，利用可能なソースを次のように切り替えて，選択します: TUNER->USB->AUX F->AUX R-> Bluetooth->DAB (DAB機能に適用)。USBとBluetoothは接続されているときにのみメニューに表示されます。

受信エリア

このラジオは，異なる周波数範囲が使用されている異なる地域で利用できるように設計されています。受信エリアはシステム設定メニューを通じて調節できます。

次のエリアを選択できます。

- EUROPE (ヨーロッパ)
- ASIA (アジア)
- 日本
- North Africa (北アフリカ)

- United States of America (USA) (米国)

時計設定

時計の時刻は、[DISP]ボタンを長押しして時間を設定することでマニュアル調節できます。

検索 ボタン[<</>>]を使用して[CLOCK]を選択します。[SEL]ボタンを押し、[VOL]ノブを回して分を調節します。

ボリュームノブ/OK

ボリュームを調節するには、[VOL]ノブを回します。

事前設定されたサウンドエフェクト

ラジオは事前に設定された異なるサウンドエフェクトを提供します。[SEL]ボタンを押し、サウンド設定メニューを呼び出します。[VOL]ノブを回して次のオプションのいずれかを選択します: EQ OFF -> POP -> ROCK -> CLASSIC -> JAZZ -> CUSTOM。

バランスフェードとラウドネス

バランス、フェーダー、ラウドネスを調節するには、[SEL]ボタンを押し、[<</>>]ボタンを押し、BALANCE (バランス) -> FADER (フェーダー) -> LOUDNESS (ラウドネス) を選択します。[VOL]ノブを回して、バランス、フェード、ラウドネスを必要に合わせて調節します。

マニュアルサウンド調節

マニュアルサウンド調節を行うには、最初にCUSTOM (カスタム) を選択します。[SEL]ボタンを再度押し、[<</>>]を使ってBASS (低音) またはTREBLE (高音) を選択します。[VOL]ノブを回して、BASSおよびTREBLEを必要に合わせて調節します。

注記: デフォルト設定

AM/FMラジオ

AM/FMラジオにアクセスするには、[SRC]ボタンを押し、Tuner (チューナ) を選択します。

バンド選択

[BAND]ボタンを押し、利用可能なラジオバンドのいずれかを選択します。ラジオバンドは次の順に変更されます: FM1 -> FM2 -> FM3 -> AM1 -> AM2

注記: AMバンドは、システム設定メニューを通じてユーザが操作することで無効にできます。

自動チューニング

自動チューニングを行うには、[<</>>]ボタンを押します。ラジオが次の受信可能なラジオ局を探して選択します。

Traffic Announcement (交通情報通知) が有効になっている場合 (“TA = ON”) は、交通情報を放送する局のみがチューニングの対象になります。

マニュアルチューニング

マニュアル操作でラジオ局を選択するには、[<</>>]ボタンを2秒間以上押します。“MANUAL”とディスプレイに表示されます。再度[<</>>]ボタンを押すと、周波数が徐々に増加/減少します。

お気に入りのマニュアル保存

FM局18、AM局12のお気に入り保存用バンクが用意されています。保存先にするお気に入りバンクを選択し、そこに保存するラジオ局にチューニングします。プリセットボタンを2秒間以上押すと、その局が保存されます。

保存されたお気に入りの呼出し

保存されたお気に入りの呼び出すには、そのお気に入りに対応するプリセットボタンを押します。

自動メモリ保存

最も良い状態で受信できる局を探してお気に入りとして保存するには、[BAND/AST]ボタンを2秒間押します。ラジオは受信状態が最も良い局を探し、それらの局を保存します。

RDS (ラジオデータシステム)

ヨーロッパの多くのFM局は、音声プログラムに加えてRDS (ラジオデータシステム) データを送信します。

RDSによって、ユーザは以下のメリットを得られます。

- 選択された局の最良の可聴周波数 (AF) に自動的にチューニングが行われるため、最良の受信クオリティが得られます。最良の可聴周波数の自動選択を有効にするには、設定メニューで“AF=ON”を選択します。
- ラジオが交通情報通知 (Traffic Announcement) を認知し、別のオーディオソースが選択されている場合でもラジオに切り替えることができます。自動交通情報通知を有効にするには、設定メニューで“TA=ON”を選択します。
- ラジオ局によっては地域特定のプログラムを提供しています。地域 (REG) 機能を使用すると、選択された地域プログラムを送信する周波数だけをフォローすることができます。地域プログラムをフォローするには、設定メニューで“REG=ON”を選択します。
- ラジオ局の名前を表示できます。

注記: 詳しい設定についてはSystem Menu (システムメニュー) を確認してください。

プログラムタイプ (PTY)

多くの国のFM局はRDSシステムを通じて、放送されているプログラムのタイプ (Program Type, PTY) を送信しています。

視聴したいプログラムタイプを探すには、[SRC]を約2秒間押し、[VOL]ノブを回してプログラムタイプを選択します。ラジオは、[SEL]ボタンが押されると、選択されたプログラムタイプを持つラジオプログラムを探します。“PTY SEEK”とディスプレイに表示されます。

選択されたプログラムタイプを持つ局が見つからない場合は、最後にチューニングされた局が選択され、“NO PTY”とディスプレイに表示されます。

以下のプログラムタイプを利用できます。

- NEWS (ニュース)
- AFFAIRS (話題)
- INFO (情報)
- SPORTS (スポーツ)
- EDUCATE (教育)
- DRAMA (ドラマ)
- CULTURE (文化)
- SCIENCE (科学)
- VARIED (バラエティ)
- POP-M (ポップミュージック)
- ROCK-M (ロックミュージック)
- EASY-M (イージーリスニング)
- LIGHT-M (ライトミュージック)
- CLASSICS-M (クラシックミュージック)
- OTHER-M (その他ミュージック)
- WEATHER (天気)
- FINANCE (ファイナンス)
- CHILDREN (子ども番組)
- SOCIAL (社会)
- RELIGION (宗教)
- PHONE IN (視聴者電話参加番組)
- 走行
- LEISURE (レジャー)
- JAZZ (ジャズ)
- COUNTRY (カントリー)
- NATIONAL-M (ナショナルミュージック)
- OLDIES (オールディーズ)
- FOLK-M (フォークミュージック)

- DOCUMENT (ドキュメンタリー)
- 試験
- アラーム

DABラジオ (DAB機能に適用)

DAB/DAB+はラジオ番組をデジタルサウンドクオリティで提供します。

DABラジオ選択

デジタルオーディオ放送 (DAB , Digital Audio Broadcast) にアクセスするには、[SRC]ボタンを押して、DABを選択します。

DABサービスSCAN

受信可能なDABサービスを探すには、[BAND/AST]を2秒間押し、DABサービスSCANを開始する必要があります。“SCAN”とディスプレイに表示されます。

DABサービスにチューニングする

DABサービスにチューニングするには、[<</>>]を押して次の/前のDABサービスを選択します。“Tuning”とディスプレイに表示されます。

DABのお気に入りの保存

3つのDABお気に入り保存用バンドを利用できます。[BAND]ボタンを押して、利用可能なDABバンドの1つを選択します。DABバンドは次の順に変更されます。

- DAB1
- DAB2
- DAB3

プリセットボタンを2秒間以上押して、目的の局を保存します。

保存されたお気に入りの呼出し

保存されたお気に入りの呼び出すには、それに対応するプリセットボタンを押します。

DABサービスリスト

受信可能なDABサービスの概要を把握するのに、DABサービスリストを表示できます。

[SEL]を2秒間押し、DABサービスリストを開きます。[VOL]ボタンを回して受信可能な局のリストをスクロールします。

DABサービスの1つにチューニングするには、[SEL]を押します。“Tuning”とディスプレイに表示されます。

あるサービスが一時的に受信できない場合は、“No Service”とディスプレイに表示されます。

DABとFM間の切替え

DAB信号のクオリティが大幅に低下した場合は、FMに切り替えてFM放送を通じてそのサービスを視聴します。

DABとFM間の切替え（DABFMLNK）はシステム設定メニューを通じて無効にすることができます。

USB/MP3/WMA

MP3とはMPEG Audio Layer 3の略で、音声圧縮規格の1つを指します。この製品ユニットではMP3ファイルの再生が可能です。ただしこのユニットは".mp3"以外のファイル拡張子が付いたMP3ファイルを読み込むことはできません。また、".mp3"拡張子の付いた非MP3のファイルを再生すると、ノイズが聞こえる場合があります。このマニュアルでは、PC用語で"MP3ファイル"および"フォルダ"と呼ばれるものは、それぞれ"トラック"および"アルバム"と表記されています。ディレクトリおよびファイルの最大数は、ルートディレクトリを含めて65,535です。フォルダあたりのファイルの最大数は1,000です。ユニットは、トラック番号の順にトラックを再生するとはかぎりません。8~320 kbpsのビットレートと、VBR（可変ビットレート）に対応しています。

注記: 5~384 kbpsのビットレートと、VBR（可変ビットレート）に対応しています。

USB

USB機能の（フラッシュメモリタイプ）MP3ミュージック再生:

- USBフラッシュメモリ2 in 1サポート
- FAT 12/FAT 16/FAT 32形式に対応
- ファイル名: 64バイト / ディレクトリ (DIR) 名: 64バイト / タグ名: 30バイト
- タグ (id3 tag ver 2.0) - タイトル/アーティスト/アルバム: 32バイトに対応
- USB 1.1サポート, USB 2.0サポート (2.0の場合、速度性能はUSB 1.1)

注記: すべてのUSBデバイスについて、このユニットとの互換性があるわけではありません。USBコネクタは500 mAでの最大作動力をサポートできます。

USBデバイスのロード/取外しと機能

USBデバイスをUSBスロットに挿入すると、"Reading"（読み込み中）とディスプレイに表示されます。その後すぐにMP3のプレイバックが開始します。

USBデバイスを取り外す前に、[SRC]ボタンを押して別のソースに切り替えます。

USBデバイスには以下の機能があります。

- MP3プレイバック/一時停止 MP3プレイバックを一時停止および再開するには、[1>]ボタンを押します。

- 次/前のMP3トラック 次/前のトラックを選択するには、[>II]ボタンを押します。
- 早送り/早戻し 現在のトラックを早送り/早戻しするには、[>II]ボタンを2秒間以上押します。
- ランダム再生 ランダム再生を起動するには、[4 RND]ボタンを押します。
- リピート [3 RPT]ボタンを押して、トラックリピート/ディレクトリリピート/すべてリピートを起動します。
- SCAN スキャン機能を起動/停止するには、[2 SCN]ボタンを押します。スキャンモードでは、すべてのタイトルが10秒間再生されます。

Bluetooth（Bluetooth装備のラジオのみ該当）

Bluetoothは、車両のビルトインオーディオシステムを、ワイヤレスでのモバイル電話または音楽のハンズフリー通信に利用できるようにします。一部のBluetooth対応モバイル電話にはオーディオ機能があり、また一部のポータブルオーディオプレイヤーはBluetooth機能に対応します。このシステムはBluetooth対応オーディオデバイスに保存されたオーディオデータを再生できます。Bluetooth付き車両ステレオでは、モバイル電話の連絡先情報、受信コール、送信コール、不在着信コール、着信コール、発信コールを取得することができ、同時に音楽を聴くことができます。

注記: Bluetooth/ハンズフリーのマイクを風の通り道、たとえばエアコンの吹出し口などに置かないでください。そのような場所にマイクを置くと、誤作動が生じる可能性があります。

注記: また、マイクを直射日光の当たる場所や高温の場所に置いた場合も、歪みや変色が生じ、結果的に誤作動が生じる可能性があります。

注記: このシステムは、一部のBluetoothオーディオプレイヤーとはまったく機能しないか、正しく機能しない場合があります。

注記: すべてのモバイル電話について、このシステムとの互換性は保証されてはいません。

注記: オーディオプレイバックの音量は、通話時に設定された音量レベルに設定されます。通話時に過剰な音量レベルが設定された場合、オーディオの音量が問題となる可能性があります。

ハンズフリー操作 - ペ어링 (Bluetooth装備のラジオのみ該当)

1. モバイル電話のBluetooth機能をオンにします。
2. モバイル電話のBluetooth設定メニューに移動します。
3. 新しいBluetoothデバイスを探します。

- モバイル電話のペアリングリストから、Bluetooth "Cat Radio" デバイスを選択します。
- パスワードとして“1234”を入力します（パスワードのデフォルト設定は“1234”です）。

注記: ペアリングが成功すると、BTアイコンとHPFアイコンが点灯します。A2DPが接続されると、A2DPアイコンが点灯します。

ダイヤル番号（Bluetooth装備のラジオのみ該当）

液晶画面にダイヤル情報が表示されます。

ユニットのダイヤル:

- [SRC]ボタンを押してBT/Audio (Bluetooth/オーディオ) モードに切り替えます。
- [5 D+]を押して、DIAL ON機能を選択します。
[SEL]ボタン / [◀▶]ボタンを押し、ノブを回してダイヤル番号を入力します。

通話の転送（Bluetooth装備のラジオのみ該当）

ハンズフリーコールとモバイル電話コールを切り替えることができます。通話中に“5”ボタンを押します。

電話に出る（Bluetooth装備のラジオのみ該当）

“5”ボタンを押すことで、着信コールに応答することができます。“6”ボタンを押せば、着信コールを拒否できます。

オーディオストリーミング（Bluetooth装備のラジオのみ該当）

オーディオストリーミングはオーディオデータ転送する方法です。オーディオストリーミングは一定の連続したストリームとして処理できます。ユーザーは、外部のオーディオプレイヤーからこのシステムのステレオに、無線接続を使用して音楽をストリーミングし、スピーカを通じてトラックを聴くことができます。提供されているワイヤレスオーディオストリーミングトランスミッタの製品の詳細については、最寄りのディーラーに相談してください。

注記: オーディオストリーミング実行中は、接続されたモバイル電話の操作を避けてください。モバイル電話を操作すると曲のプレイバックにノイズや途切れが生じる可能性があります。オーディオストリーミングは、電話による中断があった後、再開する場合もしない場合もあります。これは使用されているモバイル電話によります。オーディオストリーミングの接続が切れると、このシステムは常にラジオモードに戻ります。詳細については、“ハンズフリー操作 - ペアリング (Bluetooth装備のラジオのみ該当) ”に進みます。

BT/オーディオモード（A2DP） （Bluetooth装備のラジオのみ該当）

- プレイバック/一時停止 プレイバックを一時停止および再開するには、“▶||”ボタンを押します。
- 次/前のトラック 次/前のトラックを選択するには、“|◀▶|”ボタンを押します。

注記: 再生の順序はBluetoothオーディオプレイヤーによります。[▶▶II]ボタンが押されると、一部のA2DPデバイスは、プレイバックの時間によって、現在のトラックを始めから再生します。ミュージックストリーミングプレイバック中は、“A2DP and HFP”とディスプレイに表示されます。A2DPデバイスの接続が外されると、“DISCONN”とディスプレイに表示されます。一部のBluetoothオーディオプレイヤーでは、再生/一時停止がこのユニットと連動していない場合があります。デバイスとメインユニットの両方が、BT/Audioモードで同じ再生/一時停止状態になっていることを確認してください。

照度低下

ディスプレイとボタンの照度を落とすことができます。このラジオはマニュアル操作または自動で照度を落とすことができます。設定メニューで“DIMMING”（照度低下）を選択し、次のオプションのいずれかを選択します。

- “OFF”を選択して照度低下を無効にします。
- ラジオが車両の照明ピンに接続されていないときは、“Manual”（マニュアル）照度低下を選択します。
- ラジオが車両の照明ピンに接続されているときは、“Auto”（自動）照度低下を選択します。

輝度調節

ディスプレイおよびボタンの輝度を好みの設定に調節したい場合は、マニュアルモードを選択します。

Manual（マニュアル）照度低下を選択して、ディスプレイとボタンの輝度を調節します。

DAY/Night（日中/夜間）選択

DIMMANを選択し、“DIMDAY”または“DIMNIGHT”を選択することで日中モードと夜間モードを切り替えます。

ディスプレイとボタンの夜間輝度の調節

ディスプレイとボタンの夜間輝度を調節するには、“DIMNIGHT”を選択します。“DIM DISP”を選択して、ディスプレイの輝度を調節します。“DIMNIGHT”を選択して、ボタンの輝度を調節します。

ディスプレイとボタンの日中輝度の調節

ディスプレイとボタンの日中輝度を調節するには、
“DIMDAY”を選択します。“DIM DISP”を選択して
ディスプレイの輝度を調節します。“DIM KEY”を選
択して、ボタンの輝度を調節します。

手動モード

“DIMDAY”または“DIMNIGHT”を選択することで、
日中モードと夜間モードを切り替えます。

自動モード

自動モードでは、ラジオが車両の照明ピンに接続さ
れている場合、ディスプレイが自動的に日中モード
と夜間モードを切り替えます。

システム設定項目リスト

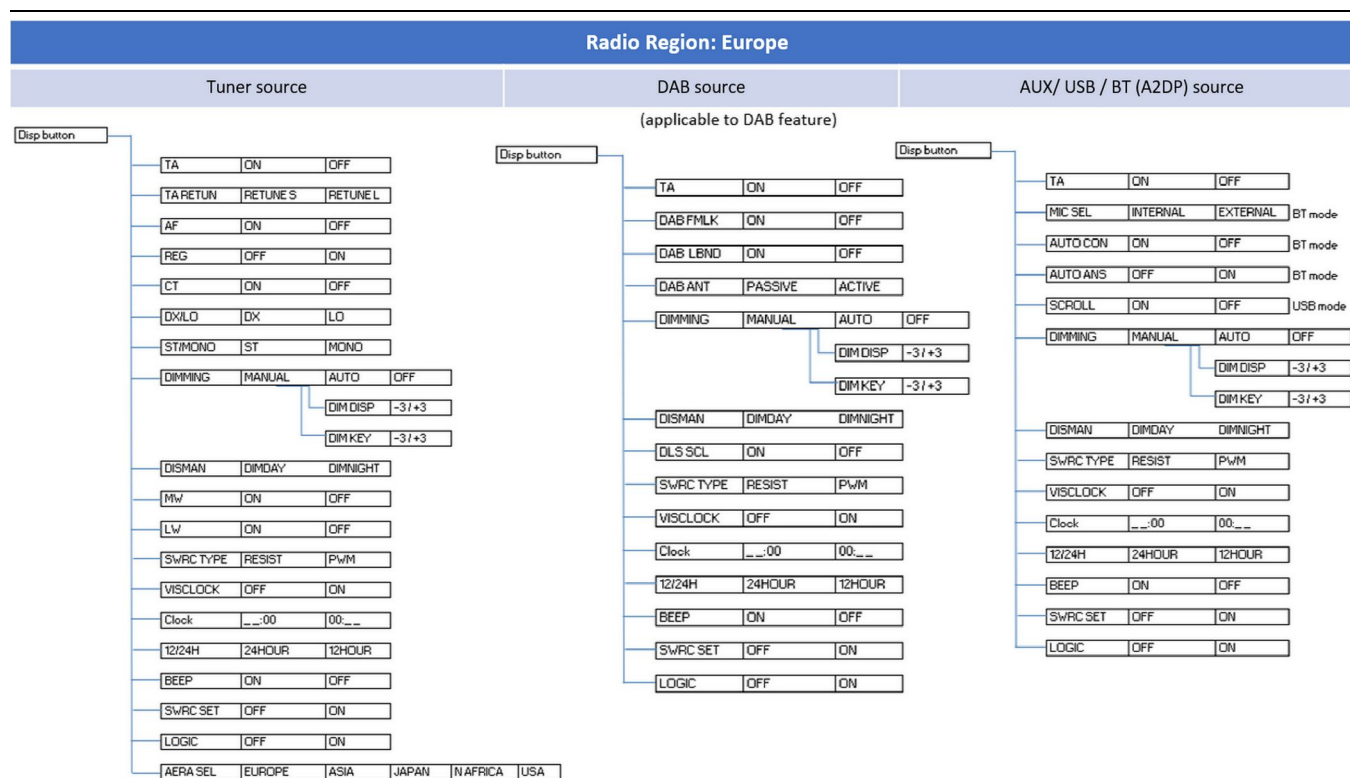


图 6

g06732298

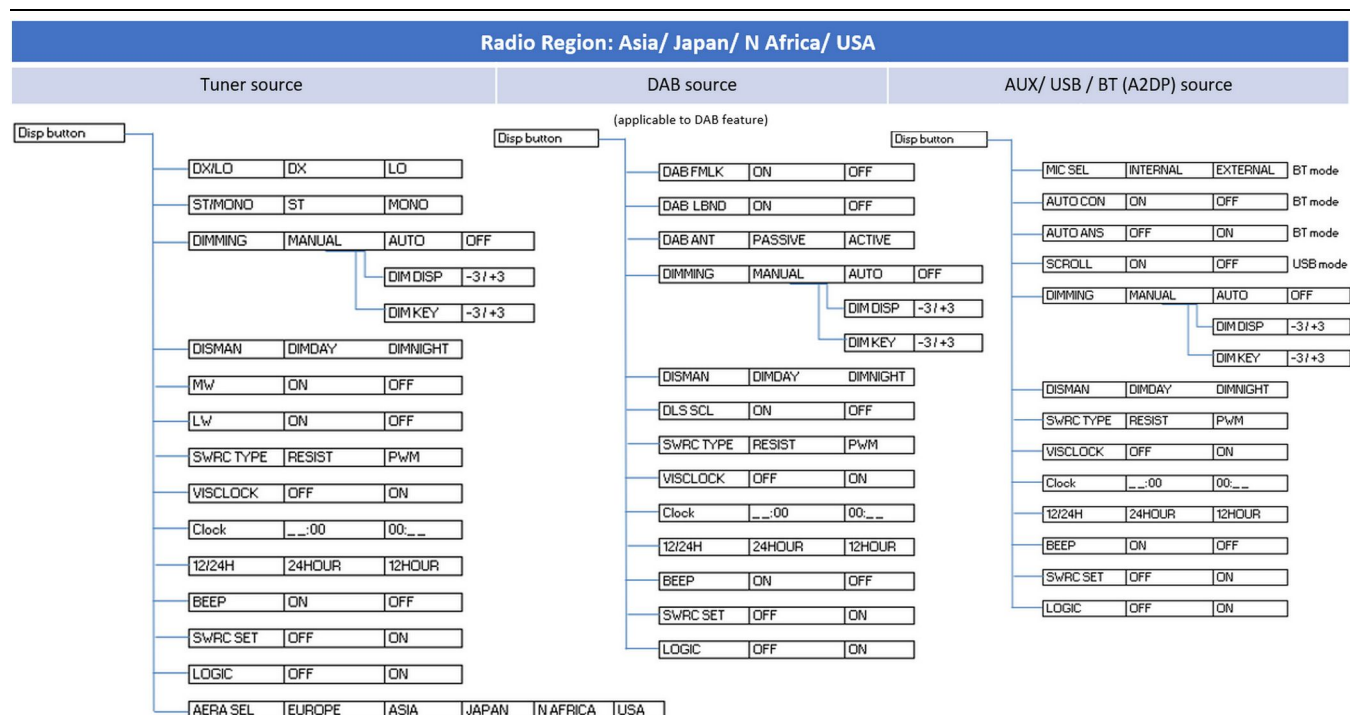


図 7

g06732301

AM/FMチューナのオプション

AM/FMチューナには、以下のオプションがあります。

- “TA” 交通情報通知の受信時に自動的にFMチューナモードに切り替える機能を有効化/無効化する。
- “TA Return” 交通情報通知がこれ以上検知されなくなったときに元のモードに戻る時間。
- “AF” FMチューナモード (RDS) で最良の可聴周波数を自動選択する機能を有効化/無効化する。
- “REG” さまざまな地域コンテンツを放送する、より良い可聴周波数を自動選択する機能を有効化/無効化する。
- “CT” RDS信号を通じて受信される時刻に時計を自動的に同期させる。
- “VISCLOCK” ラジオがオフになると、ディスプレイに時計が表示される必要があります (この機能は、バッテリーが切断されている場合、機能しません)。
- “DX/LO” AM/FMチューナの検索レベル。
- “ST/MONO” FM/AMチューナのステレオまたはモノラル出力の選択。
- “AREA SEL” AM/FMチューナを該当地域に合わせる。

DABチューナのオプション

以下の機能はDAB機能に適用されます。

- “DAB FMLINK” DAB信号の低下時に自動的にFMチューナに切り替える機能を有効化/無効化する。
- “DAB LBND” Lバンドのデコーディングを有効化/無効化する。
- “DAB ANT” アクティブアンテナまたはパッシブアンテナの接続を選択する。
- “DLS SCROLL” アーティスト名と曲名の表示を有効化する。

Bluetoothオプション (Bluetoothラジオ用)

- “SCROLL” ON: ID3タグ情報を次のサイクルで表示する: Track (トラック) - Folder (フォルダ) - File (ファイル) - Album (アルバム) - Title (タイトル) - Artist (アーティスト) - Track (トラック)。OFF: Track (トラック) を表示する。

- “MIC SEL” フロントパネルに組み込まれたマイク、またはリアコネクタで接続された外部マイクの使用。

- “AUTO CON” Bluetooth接続を有効化/無効化する。

ステアリングホイールコントロールのオプション

以下はステアリングホイールコントロールのオプションです。

- “SWRC TYPE” ステアリングホイールコントロールのタイプの選択 (抵抗/PWM)。
- “SWRC SET” ステアリングホイールコントロールを有効化/無効化する。

照度低下のオプション

以下は照度低下のオプションです。

- “DIMMING” 照度低下モードを選択する (OFF, マニュアル, 自動)。
- “DIM DISP” ディスプレイの輝度を調節する。
- “DIM KEY” ボタンの輝度を調節する。
- “DIS MAN” 日中モードと夜間モードを切り替える。

その他のオプション

- “AM / MW” AM/MW受信を有効化/無効化する。
- “LW” LW受信を有効化/無効化する。
- “BEEP” 確認シグナルを有効化/無効化する。
- “Logic” イグニッションロジックを有効化/無効化する。
- “Clock” 時間と分を調節する。
- “12H / 24H” 12時間/24時間表示形式を選択する。

ヒントおよびトラブルシューティングチャート

以下のチェックリストは、このユニットを使用する際に遭遇する可能性のある問題の解決に役立ちます。サービス担当者に相談する前に、各接続を確認し、ユーザマニュアルの指示に従ってください。ユニットが異常状態にある場合は、ユニットを使用しないでください。異常状態とは、たとえば、音が出ない、煙や異常な匂いがあるなどです。このような状態は、出火または感電の原因となるおそれがあります。ただちに使用を止めて、そのラジオを購入した店舗に連絡してください。

表 5

不具合状況	推定原因	解決策
ゼネラル		
ユニットの電源がオンにならない。	車両のイグニッションがオンになっていない。ケーブルが正しく接続されていない。ヒューズが切れている。	車両のキーをイグニッション位置に回す。ケーブルの接続を確認する。切れたヒューズを同じ容量の新しいヒューズと交換する。
音が出ない	ボリューム設定が最小になっているか、ミュート機能がオンになっている。	ボリュームを確認するか、ミュート機能をオフにする。
ユニットまたはスクリーンが正しく機能しない。	ユニットが不安定になっている。	RESETボタンを押す。
モード - チューナ		
ラジオ局を受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナを正しく接続する。
ラジオ局の受信状態が悪い。	アンテナが完全に伸びていないか破損している。	アンテナを完全に伸ばすか、破損している場合は新しいものと交換する。
モード - USB		
USBデバイスを挿入できない。	USBデバイスが逆向きに挿入されている。	USBの向きを変えて挿入する。
USBデバイスを読み込めない。	NTFS形式がサポートされていない。	ファイルシステムがFATまたはFAT32形式であることを確認する。形式の違いによって、保存デバイスまたはMP3プレイヤーの一部のモデルを読み込むことができない。

アクセサリ

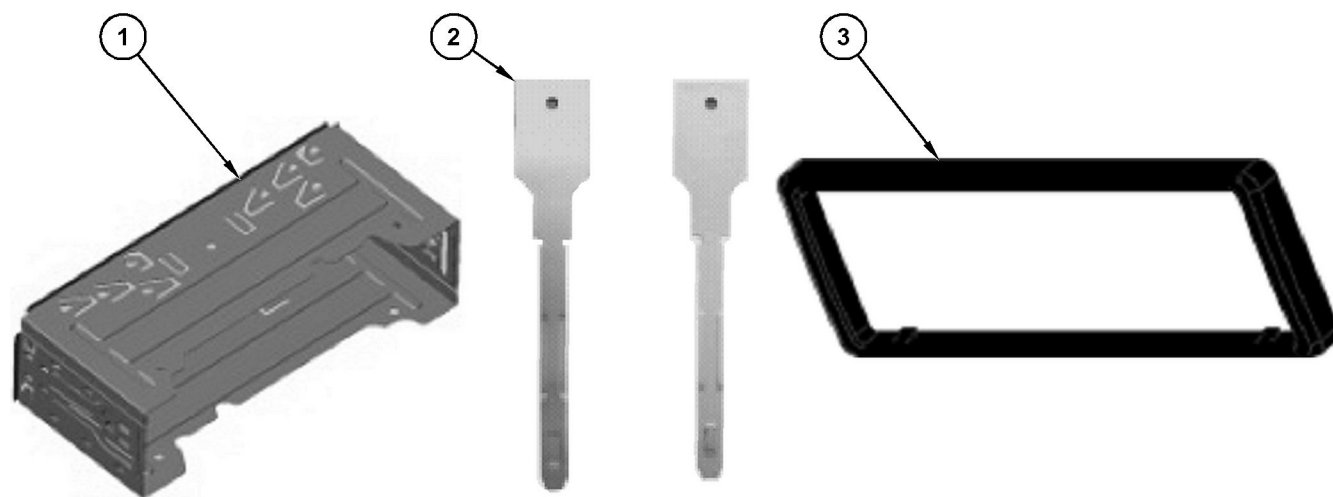


図 8

ラジオアクセサリ

(1) メタルスリーブ

(2) リムーバル工具

(3) ベゼル

g06248183

索引

英数字

安全について	2
安全上の基本的注意事項	5
運転準備	5
前書き	5
注意	5
注意事項	5
導入	5
運転操作編	8
娯楽用ラジオ (標準ラジオ - 装着の場合)	6
sDoC	6
仕様	6
認証の通知	7
作動	8
法規制遵守情報	6
無線周波数成分	6
目次	3

ハ

はじめに	4
サービス資料の内容	4
安全について	4
作動	4
保守整備編	4

ラ

ラジオ (娯楽用 - 装着の場合)	8
ステレオレシーバ (Bluetoothラジオ)	8
導入	8

製品およびディーラ情報

注記: 製品識別プレート取付け位置に関しては、取扱説明書の”製品識別情報”をご参照ください。

納品 日: _____

製品情報

名称: _____

製品 識別番号: _____

エンジン シリアル番号: _____

トランスミッション シリアル番号: _____

発電機 シリアル番号: _____

アタッチメントシリアル番号: _____

アタッチメント 情報: _____

顧客装置 番号: _____

ディーラ装置番号: _____

ディーラ 情報

店名: _____ 支店: _____

住所: _____

	<u>ディーラ 連絡先</u>	<u>電話番号</u>	<u>営業時間</u>
販売:	_____	_____	_____
部品:	_____	_____	_____
整備:	_____	_____	_____

M0086999
©2022 Caterpillar
All Rights Reserved

CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの 各口
ゴ, "Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge", およびCAT
"Modern Hex"のトレードドレスは, ここに記載されている企
業および製品と同様に, Caterpillar社の商標であり, 許可なく
使用することはできません。

